

会 議 録

1 会議名	平成26年度第5回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成26年10月29日(水) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 山口和子, 神山光男, 川津昭夫, 高橋榮一, 藤枝登茂子, 笹沼志津子, 長谷川良子, 江連脩身, 手塚正義, 小嶋康夫, 長嶋秀子, 君島恭子, 高橋みどり, 福嶋修</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>ア, 前回からの変更点について</p> <p>イ, 実行プラングループ協議</p> <p>ウ, グループ協議結果発表, 意見交換</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開 会	
第5回宇都宮市上河内自治会議開会	
事務局	4人の委員から欠席の連絡を受けており、出席者数は16名で、委員の過半数に達しているため、この会議は成立する。
2 会長あいさつ	
太田会長よりあいさつ	
3 議 事	
(1) 地域のまちづくりに関する施策の提案について	

会 長	<p>それでは、次第3、議事に入らせていただく。</p> <p>まず、(1)地域のまちづくりに関する施策の提案について、ア、前回からの変更点について、事務局から説明願う。</p>
事務局	「資料1-1」、「資料1-2」に基づき説明する。
会 長	資料等について、質問等はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	次に、イ、実行プラングループ協議について、資料と進め方について、事務局から説明願う。
事務局	「資料2」、「資料3」に基づき説明する。
会 長	資料等について、質問等はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	それでは、グループ協議をお願いする。
グループ協議を実施	
会 長	<p>それでは、グループ協議の結果を発表していただく。</p> <p>まず、Cグループからお願いする。</p>
委 員	<p>Cグループの協議結果を発表させていただきます。</p> <p>まず、方策1「地域農産物を活かした農業の充実」の「6次産業化の推進」については、どこが中心となり取り組んでいくかということで「JA、行政、農業従事者が一体となって推進する」と追加した。「貸し農園の拡充」については、「事業窓口を明確にし、現状や方向性を報告し、営農集団やサポートセンター、振興事務所のような所を活用する」とし、このような取り組みをする方達が高齢化してくると後が続かなくなるため、後継者の確保・育成が必要になるという意見もあった。「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については、「食品にこだわらず多方面へのチャレンジが必要」ではないかと考え、例えば化粧水、ハンドクリーム、石鹸など、ゆずを使った製品を考えていく事も必要だという意見があった。</p> <p>方策2「地域資源を活かした観光の推進」の「羽黒山を核とする地域資源を活かした観光振興と民間の観光施設との連携」については、「観光マップを作成し、市内外から観光及び体験ツアーを実施して集客し、地域の魅力を伝える。また、農産物、加工品、花、などの販売所を兼ねた観光案内所の設置」とした。方策3「地域内道路網の整備と地域内交通の利用推進」の「安全性を確保するための道路の整備」については、「スマートICを利用し、地域内の交通量の増加により危険箇所の把握が必要になるため、組織作りをし、青パトによる情報収集やインターネットの活用をし、安全性を確保するための道路整備」とした。「利用者ニーズにあった公共交通の改善」については、「利用者に便利な乗り継ぎや目的施設の増設をすることにより利用者増加につなげ、ネットワーク型コンパ</p>

	<p>クトシティの実施に向けた地域外への乗り継ぎを実現する」とした。 以上が協議結果である。</p>
委員	<p>Aグループの協議結果を発表させていただく。 まず、方策1の「貸し農園の拡充」については、「遊休地を有効活用するとし、観光資源化につながるのではないか」という意見があった。また、手法の3年後までには、「指導者の確保」を追加し「栽培方法などの指導」を5年後に修正した。「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については、「魅力ある観光農園の充実とオーナー制度の利用等で観光、交流人口を増加させる」とした。「地域の観光資源を活用した観光農園の開設」については、「梵天の湯周辺の土地を活用し施設整備を充実させ、温泉熱を利用した作物を作る」とした。方策2の「羽黒山を核とする地域資源を活かした観光振興と民間の観光施設との連携」については、「羽黒山の歴史、四季の景色、夜景、や上田地区の石蔵、また、ホテル、緑水公園などのPRをする」とした。また、手法の5年後までの、「緑水公園の再開発」では、緑水公園の芝生はグラウンドゴルフ場等に使う事ができないかと考えた。方策3の「利用者のニーズにあった公共交通の改善」については、「デマンドタクシー登録者を増やし、利用回数を増やす」とした。 以上が協議結果である。</p>
委員	<p>Bグループの協議結果を発表させていただく。 まず、方策1の「貸し農園の拡充」については、「観光資源を活用した観光農園の開設」とイコールとして考え、「事業窓口の確立で、コーディネートする組織を確立し、利用対象者の絞り込みをして、同時に水道、トイレ、駐車場などの周辺施設の整備をし、拡充を行う」とし、手法の5年後までの「新規就農希望者への支援」を削除し、10年後までに「交流人口の増大」を追加した。「ゆずやいちごの観光農園の拡大」については、手法の5年後までの「ゆずやいちごの量産化」を「ゆずやいちご農園の拡充」と修正した。方策2の「羽黒山を核とする地域資源を活かした観光振興と民間の観光施設との連携」については、「地元企業のこいしや食品、日新製菓、めん小町、笙家、ラーメン店、羽黒茶屋などをPRして地域の活性化をはかる」とし、手法の3年後までに「地域内を巡るスタンプラリーの実施」を追加した。方策3の「安全性を確保するための道路の整備」については、「地域協議会が主体となりパトロール隊を結成する」とした。 以上が協議結果である。</p>
会長	<p>貴重なご提案ありがとうございました。 各グループの特長と印象を含めてご紹介する。 まず、Cグループは、具体的な手順を明確にし、誰がやるのかという</p>

	<p>取組みの主体についても示していただいた。また、6次産業化が取組みの1つの柱になっているが、農産物を加工品としてだけでなく、それ以外の商品として化粧品など新しい分野として商品開発していく、という新たな提案があり、新たな可能性をご指摘いただき非常に重要な内容になったと思う。</p> <p>Aグループは、具体的に何年後までにとという決められた期間の中でどこから手を付け、何をやっていくのかという事について改めて明確に示していただいた。また、観光農園についてはオーナー制度の利用、観光については緑水公園の芝生を利用したグラウンドゴルフ場の開発など、新しい提案をしていただいた。</p> <p>Bグループは、方策1, 2も含めて、1つ1つの取組みを個別ではなく相互の関係をトータルで考えていただいた。最終的には1つ1つの取組みを行った結果、どのような地域の状態や成果が生まれるのかという事が問われることになるので、個別ではなく全体として見渡し、相互の関係を示していただいたのは大変重要なご指摘だったと思う。</p> <p>全体として共通しているのは、具体的な取組みを時期的な手順を含めて示していただき、併せて新たな発想や提案が出され、新しい可能性を示していただいた。</p> <p>今日の検討の成果を踏まえた上で、次回に向けて更に具体的なものを示しながら最終的な確認をしていただきたい。</p> <p>以上、総評とさせていただきます。</p>
5 その他	
会長	その他、意見や質問、連絡事項等ないか。
事務局	次の、第6回自治会議の開催は、改めて通知させていただく。
6 閉会	
会長	以上で、「平成26年度第5回上河内自治会議」を終了する。